

第344号

2012年

3月12日

どついたニュース

全損保日動外勤支部

東京都中央区銀座5-13-7

東銀座東京海上日動ビル1階

電話 03-3542-9857

FAX 03-3542-9858

教宣部 発行

2012 3.1 ビキニデー

多くの人に58年前の事実を知ってもらいたい

東日本分会・磯崎書記長が支部代表として参加

被災から58年を迎える「3.1 ビキニデー」に、支部を代表して、東日本分会・磯崎書記長が参加しました。

今回、磯崎さんは、前日に開かれた全体集会・分科会から、当日の献花墓参行進・故久保山愛吉氏墓前祭・ビキニデー集会、夜の全損保・静岡オルグに参加し、翌日は東京・新木場の第五福竜丸展示館まで見学に行かれ、とても精力的に動かれました。

3月1日の墓前行進には、東日本分会・濱見委員長、東京地協代表の井出組合員、大阪地協代表の長田執行委員と合流し、本部・道家書記長と共に、全損保が掲げる“平和、にむけた取りくみを力強く推進してもらいました。

今年のビキニデーは、福島第一原発事故による“放射能汚染、という危機意識の高まりから、例年以上の参加者が集まったと報告されています。唯一の核被爆国である日本は、58年前に米国の水爆実験によって第五福竜丸が被災するという事態に見舞われました。この事実を知っている方はどれほどいるのでしょうか。磯崎さんの「多くの人に58年前の事実を知ってもらいたい」という訴えが心に響きます。

未曾有の大災害となった東日本大震災からちょうど一年が経過するいま、“平和とはなにか、を、あらためて問い直したいと思います。

次ページに磯崎さんから寄せられたレポートを掲載します。

3.1 ビキニデーに参加して

東日本分会 磯崎新司

2月29日～3月1日に焼津市で行われた3・1ビキニデーに参加して来ました。

今年は、特に、東日本大震災による福島第一原発事故が起こった影響で“放射能汚染”の危険が叫ばれていることもあって、例年の集まりにも増して多くの参加者が焼津に集まったそうです。

2月29日は、13時から19時まで静岡グランシップ内で、3・1ビキニデー日本原水協全国集会の全体集会・分科会が行われ、すべてに参加しました。



翌3月1日は、焼津市で献花墓参行進・故久保山愛吉氏墓前祭に参加しました。この日は晴天に恵まれ、5km歩いて足が痛くなりましたが、平和に向けた取りくみをしているという清新な気持ちに包まれ、すがすがしい時間を過ごすことができました。

その後、焼津市文化センター大ホールにて、「ビキニ被災58年 2012年3・1ビキニデー集会」が行われ、核廃絶にむけて世界各国からの宣言や提言を聞くことができ、“平和の価値”についてとても考えさせられました。

夜、静岡市で行われた本部オルグでは、この日行動を共にした本部・道家書記長からオルグを受けました。「損保業界が健全に仕事ができるのは“平和”があつてのことです」という道家書記長の言葉が身に染みしました。損保系の労働組合で“平和”への取りくみをおこなっているのは全損保だけだと知り驚きましたが、平和への取りくみは大切にしなければならないと思います。

米国が次々と行った水爆実験により南太平洋の死の灰は、現地の島や海に降り注ぎ、多くの漁船を被災させました。焼津漁船第五福竜丸無線長の久保山愛吉さんは「原水爆の犠牲者は私を最後にしてほしい」の言葉を遺して亡くなりましたが、唯一の被爆国である日本の国民として、「核兵器のない世界にしていこう」と心から訴えたいと思います。

東京・新木場の夢の島公園内に、第五福竜丸展示館があります。ビキニデーは3月1日ですが、ここはいつでも訪れることができます。多くの人に58年前の事実を知って欲しいと思いました。

